

# 平成29年度 学校関係者評価書

学校名	北海道登別青嶺高等学校
-----	-------------

組織名	学校評議員
評価者	
川島芳治	斎藤正史
藤江紀彦	田村忠士
田村薫	

## 1 本年度の重点目標

重点目標の適切さ	(1) 基本的な学習姿勢を身につけ、目標を持って学力を積み上げる努力をする生徒 (2) 自他の生命や人格を尊重し、互いに思いやり、集団の一員として適切に行動し、健全に生きる生徒 (3) 自己理解を深め、自らの個性と適性に基づいて進路目標を確立し、自己実現を目指す生徒
重点目標の適切さ	おおむね良好であり、重点目標は適切であると思う。数値目標も必要かと思う。今年度は、集団の一員として行動している生徒が多いと感じた。

学校が行った自己評価の結果の内容が適切かどうか評価を行う。  
 A(適切な評価である)  
 B(ほぼ適切な評価である)  
 C(やや不適切な評価である)

## 2 自己評価結果

大項目	中項目	評価項目・指標等 小項目	達成状況	取組の適切さ	改善の方策	自己評価の結果の内容の適切さ				取組の適切さ				今後の改善の方策の適切さ			
						A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D
学習指導	教育課程	生徒の実態に即した教育課程編成	C	B	次期学習指導要領に向けた教育課程について検討を行う。	2	1			3				2			
		基礎・基本を大切に指導	C	B	朝読書・朝学習の継続により、表現力を向上させるとともに、落ち着いた授業に接続させる。	1	1	1		3				2			
		家庭学習の促進など学習習慣の定着を図る取組の促進	C	C													
	学力向上	朝読書や朝学習など朝の時間の有効活用	A	A		3	1			3	1			2	1		
		授業規律の確立	C	C	授業規律の確立により、基礎・基本の定着と、生徒の主体性を伸ばす授業改善を行う。	2				2				2			
		言語活動の充実や問題解決的な学習	B	B													
		観点別評価など評価の工夫	A	A		2				3				2			
授業改善	学ぶ意欲を喚起する学習指導の工夫	C	B														
学校としての特徴を何か出すのがいいと思う。体験入学での模擬授業などを工夫してはどうだろうか。																	
生徒指導	規範意識	規範意識が涵養される生徒指導の推進	B	B	引き続き、継続的に指導していく。	2	2			2	1	1		2		1	
		スマートフォン等に頼らないコミュニケーションづくり	A	A		3	1			3	1			2		1	
	自主的主体的活動	活発な生徒会活動	B	B	生徒会行事を通し、主体的に活動できる生徒を育てる。	1	3			1	2	1		1	1	1	
		部活動の充実・活性化	C	A	中学校との連携を積極的に図っていく。	1	2	1		1	2	1		1	1	1	
		いじめ防止に関する適切な啓発及び対策	B	A	継続して実施する。	2	2			3	1			2		1	
スマホの預かり指導は効果があるので、継続した取り組みを。女子生徒の服装の乱れが気になった。																	
進路指導	進路実現	上位層の学力伸長に係る取組の推進	B	A	講習、添削等により継続指導を行う。	1	3			1	3			1	2		
		保護者に対する十分な進路情報の提供	C	B	ホームページ、学校だより等のさらなる充実を図る。	1	2	1		1	1	2		1	1	1	
	キャリア教育の推進と進路情報提供	生徒との進路にかかる個別相談の充実	A	A	継続して実施する。	3	1			3	1			2		1	
		系統的進路指導の推進	B	B	継続して実施する。	1	3			1	2	1		1	1	1	
学校からは情報発信しているが、保護者と情報を共有してほしい。																	
健康安全指導	心身の健康	生徒全員の個別面談の実施と教育相談活動の充実	A	A	「ほっと」「Q-U」等の検査結果を分析し、教育相談へと結びつけるとともに、引き続きスクールカウンセラーの活用を図る。	3	1			3	1			2		1	
		スクールカウンセラーの活用による教育相談機能の強化・充実	A	A													
		特別支援教育への理解の促進	C	C	教職員で情報の共有を図る。	2	1			2	1			2			
	美化活動	校舎内外の清掃・環境整備	B	B	生徒への美化活動の意識付けを図る。	1	2	1		1	3			1	2		
防災		生徒の主体的行動を高める防災意識の涵養	D	C	今年度、避難訓練等の実施内容を工夫した。次年度も継続する。	2	1			2	1			1	1		
教育相談体制は整っており、積極的なスクールカウンセラーの活用が効果的である。																	
信頼される学校づくり	地域連携とPTA活動の活性化	PTA便り・学校通信・HP・ラインスクールなど発信の強化	A	A	今年度、PTAによる茶話会を実施した。今後も保護者間の意見交換等の機会を作っていきたい。	1	3			1	1	2		1	1	1	
		地元中学校との情報交換、部活動などの交流	D	C													
		学校行事への参画の推進などPTA活動の活性化	C	B													
地域の方に信頼される学校づくりに努めてほしい。地域のマスメディアをもっと活用して、学校PRを増やしましょう。PTA以外での、地域との連携に努力を。																	
組織運営	教職員の連携強化	教職員の学校経営参画意識を持った主体的取組の前進	D	C	各分掌や学年などで、組織的な運営となるように情報共有を図る。												
		教職員同士の意思の疎通と組織的運営	C	B		1	1							2			
		的確な反省引き継ぎなど事業・行事実施後の成果と課題の把握	C	B													
		教育課題や教育情報の共有化と共通認識の促進	D	C	職員会議、朝の打合せ等を活用し教育情報の共有化を図る。	1	1			1				2			
学校外への情報提供が少ない。教職員で情報共有や意思の疎通に努めて下さい。																	
資質向上	研修等の充実	校外での研修への参加と積極的な教科内研修の実施	D	C	研修参加教員による報告書等により、教職員全体への周知を図り、研修成果を生徒へ還元する。												
		徴収金に対する適正な管理と意識改革	B	A		2	1			3				2			
		教職員と保護者との連携	C	B													
		授業観察や助言による教職員の資質向上	D	C													
頻りに学校に行っているわけではないので、評価できない部分が多い。教職員と保護者の連携に努めてほしい。																	